



1位、トピックス
ショクダイオオコンニャク



2位 ダシリリオン・ウィーレリ



3位 食虫植物コーナー

植物多様性を知る・守る・伝える 筑波実験植物園

温室のみごろ植物

第1077号 2026年7月30日 次号予定8/13

今週のベスト3！

黄色い札が目印です

1位 ショクダイオオコンニャク 7月23日に開花し、26日に付属体が倒れましたが、まだまだ巨大な植物の様子を楽しめます。近くではコンニャク各種も展示しています。

2位 ダシリリオン・ウィーレリ 雌株の花茎が天井まで伸びています。当園での開花は2009、2015、2019年に続いて4回目です。

3位 食虫植物コーナー ネペンテス、ムシトリスミレ、ウサギゴケなど、さまざまな食虫植物が見られます。



じゅもーく先生トピックス

1位 ショクダイオオコンニャク

Amorphophallus titanum サトイモ科

世界最大の「花」といわれるショクダイオオコンニャクが7月23日に開花しました。すさまじい悪臭のため、世界でもっとも醜い花とも。世界でも開花がまれで、咲いて2日目にはしおれてしまうので、花を見るチャンスはめったにありません。今回開花した株は、2012年の初開花から数えて7回目の開花。2023年に咲いたときは人工授粉に成功し、日本で初めて果実をつけて話題になりました。今回は同じ株から7回めの開花(日本最多)、結実後枯れずに開花(日本初)という大記録です。開花は終わりましたが、花序全体が倒れるまで、状況をホームページの「コンニャク日記」でお伝えします。

7月26日の12:35頃、付属体が倒れました

筑波実験植物園長 遊川知久

見ごろ期間の短いものもあります。ご了承ください。



- ① ナガバノゴレンシ 幹から赤く可愛い花が垂れて咲いています。果実は酸味が強く生食には向いていないようです。
- ② アカバナナ むっちりとした実がたくさんなっています。少しずつ大きくなっています。
- ③ アマゾンユリ 美しい姿からコサージュやブーケにも利用されます。
- ④ トーチジンジャー 真っ赤な松明(たいまつ)のようで美しいです。つぼみもあり、まだまだ楽しめそうです。
- ⑤ プロステケア・プリスマトカルパ 紫色の斑点模様が目を引くランの花が咲いています。
- ⑥ サクララン モンパノキに絡みついたこの花が目立ちます。半球形に集まって下がって咲いているのも面白いです。😊MK